学校番号	3020B

平成３１年度　地理歴史科

教科	地歴	科目名	世界史Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次通年
使用教科書	詳説世界史Ｂ（山川出版社）						
副教材等	最新図説タペストリー（帝国書院）　新世界史研究ノート[応用編]（啓隆社）						

１　選択条件等

探求系列の生徒は必履修

２　学習内容概要

・世界史の基本的素養を修得する。
・世界のそれぞれの地域の歴史的ながれを理解するとともに、どのように交互に影響を与えたかについて考察する。
・歴史の大きな変化の原因・経緯・影響について関連させて考察する。
・世界史の流れの中で日本がどう対応し変化してきたか考察する。
・世界の近代史の流れを理解し、現代的な課題を歴史的に考察する力を身につける。

３　学習の到達目標・評価規準

・資料を読み取り、それをもとにして歴史的思考力を身につける。
・現代の諸課題について近現代史を中心とする歴史と結びつけ考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史を関連付けながら理解し、国際社会での貢献を期待される日本国民としての自覚と資質を養う。
・自国の動向とグローバルな動向をともにふまえ、現代的な課題を考察する力を身につける。

４　学習方法・担当者からのメッセージ等

・講義中心に授業を進めますが、できるだけ自分でまとめ、発表する機会を設けたいと思います。
・プリントは講義用と課題用があります。プリントを綴じるファイルを用意してください。
・しっかり本を読みましょう。教科書はもちろん、資料集やその他世界と日本に関する物なら何でもかまいません。
・世界の国々と日本の関係について、基本事項を理解した上で、今どのような問題が存在するのか？それらを解決するにはどうすればいいのかを考察しましょう。
・特に日本の周辺国と日本の関係については、なぜ今のような状況なのかを考えましょう。

５ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代から現代までの世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の諸地域・諸分野の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
主たる評	ワークシート レポート 発問評価・授業態度	定期考査 ワークシート 発問評価・授業態度	定期考査 ワークシート 発問評価・授業態度	定期考査 ワークシート 発問評価・授業態度

	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 ポスター	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

６　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	先史の世界	・先史の世界	○	○			a:文明の特徴を理解し，人種や民族，語族といった概念を関心を持って学習しようとしている。 b:人類の進化の過程，農耕・牧畜の開始の意義などを，多角的に考察し，文章にまとめる。	ワークシート 発問評価 授業態度
	オリエントと地中海世界	・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・ローマ世界	○	○	○	○	a:メソポタミアとエジプトの灌漑農業を基盤とした古代文明，ギリシア文明・ローマ文明とキリスト教の発展を，関心を持って学習しようとしている。 b:諸文明がのちの世界に与えた影響を多角的に考察し、文章にまとめる。 c:教科書に記載されている諸文明の資料・図版・美術工芸品の写真などを適切に活用している。 d:西アジア世界・地中海世界の地理的特質，歴史的展開，文明の特徴を理解し，その基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
	アジア・アメリカの古代文明	・インドの古典文明 ・東南アジアの諸文明 ・中国の古典文明 ・南北アメリカ文明	○	○	○	○	a:インドの諸宗教の特徴，東南アジアの諸民族の形成・発展，中華文明形成期の社会の特徴，南北アメリカ文明の基層文化の特徴について関心を持って追求，学習しようとしている。 b:インドにおける諸宗教と諸王朝のかかわり、東南アジアの講師国家の形成・発展、中国を中心とする東アジア世界の骨格の形成について多角的に考察し、文章にまとめる。 c:農耕を中心とする東アジアの社会や生活，文化や思想に関する資料を収集し，考察した結果を適切に表現している。 d:南アジア・東南アジア・東アジア諸地域間の交流と独自世界の形成について基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

	内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成	○	○	○	○	a:騎馬遊牧民とオアシス農耕民との生活の比較、中国の北方諸民族と漢族の王朝の比較、隋唐帝国と日本など隣接諸国の動向ついて関心を持って追求，学習しようとしている。 b:唐王朝が名実ともに東アジア文化圏を形成したことを，その築き上げた整然とした国家制度や文化から判断し，文章にまとめる c:教科書に掲載されている内陸アジアの地勢図、唐王朝の社会や文化の国際性を示す資料・図版・写真などを適切に活用している。 d:律令制度や文化の理解に加え，唐王朝が東アジア世界と内陸アジア世界を含む政治的秩序を形成したことを把握し，日本や新羅などの国家体制の整備に関する基本的な知識を身につけている。南アジア・東南アジア・東アジア諸地域間の交流と独自世界の形成について基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
1学期	イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界の形成 ・イスラーム世界の発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化	○	○	○	○	a:ムハンマドの活動やイスラーム教の特質について，関心を持って学習しようとしている。イスラーム文明の具体的な影響や役割，形成されたネットワークの意義について意欲的に学習しようとしている。 b:イスラーム世界の東方への拡大と西方における変容を，内陸アジア世界やヨーロッパ世界の動向と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:インドや東南アジアへのイスラームの伝播を示す地図，アフリカのイスラーム化に関する地図や図版などを適切に活用している。 d:イスラーム文明が古代以来の西アジア文明を基盤としてユーラシア各地の要素を加えて形成された融合文明であることを理解し，その学問と文化活動の基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
	ヨーロッパ世界の形成と発展	・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパ中世の文化	○	○	○	○	a:フランク王国とローマ教皇の提携の意義，ノルマン人などの諸民族侵入の影響について，関心を持って学習しようとしている。中世文化の特色とキリスト教会の果たした役割について関心を持って学習しようとしている。 b:ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルが経済的に発展した理由や，帝国とスラヴ人との関係を多角的に考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている十字軍と西ヨーロッパ勢力の拡大，中世都市・交通路と二大商業圏などの地図や，マグナカルタ・英仏の系図などの資料，図版を適切に活用している。 d:西ヨーロッパ封建社会の変容，中世都市と商業の発展，諸国の国王による中央集権化の過程に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

	内陸アジア世界・東アジア世界の展開		○	○	○	○	a:モンゴル帝国が掌握した内陸アジア全体におよぶネットワークとその影響について，関心を持って学習しようとしている。 b:中国周辺諸国の独自の文化形成，遊牧諸国家の支配体制の特徴，宋の統治体制とその社会や文化の特色を，東アジア文化圏の統合力の変化という視点から考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているモンゴル帝国の領域図や帝室の系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:遊牧国家ウイグルの崩壊以降，トルコ系遊牧民が広く内陸アジアに定住し，イスラーム化していったことに関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
2学期	アジア諸地域の繁栄	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と東アジア諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	○	○	○	○	a: ティムール朝，オスマン帝国，サファヴィー朝の領域拡大の過程や興隆について，関心を持って学習しようとしている。 b:清朝と周辺諸地域との関係の変化を，東南アジアの状況やヨーロッパ勢力の活動と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている明の領域図や周辺諸地域図、清朝の領域図や周辺諸地域図，チベットや琉球の図版などを適切に活用している。 d:ムガル帝国の統治システムやイスラーム教徒とヒンドゥー教徒融合の試み，インド地方政権の台頭，東南アジア交易世界の発展に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
	近世ヨーロッパ世界の形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	○	○	○	a: ヨーロッパ諸国がたがいに独立した主権国家として競合しながら国際秩序を形成していった過程を，関心を持って学習しようとしている。 b:大航海時代を世界の一体化や資本主義経済発達の基盤と関連づけて考察し，文章にまとめる。 C:教科書に掲載されている作品群やルネサンス期の文化と美術の一覧表などを適切に活用している。: d:ルター，カルヴァンによる宗教改革の拡大，イギリスの改革，対抗宗教改革に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
	近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀ヨーロッパの文化と社会	○	○	○	○	a:イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争，東ヨーロッパ諸国の台頭を，関心を持って学習しようとしている b:大西洋世界で確立した三角貿易が西ヨーロッパ有力国にもたらした莫大な利益を，産業革命の前提条件である資本の蓄積と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている17世紀半ばのヨーロッパ諸国の植民地をあらわした地図，社会風俗の図版などを適切に活用している。 d:科学革命や国際法，啓蒙思想，バロックやロココの芸術の具体的事例と，それを生み出した背景や社会状況に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	○	○	○	○	a: フランス革命の経済的，思想的背景について関心を持って学習しようとしている。 b:資本主義体制の確立と社会の変容について，社会問題・労働問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:「アメリカ独立宣言」の抜粋などの資料から，近代民主政治の基本原理に触れることができている。 d:皇帝ナポレオン誕生の背景やその大陸支配の経過に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
	欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 ・19 世紀欧米の文化	○	○	○	○	a: ウィーン体制の特色とその崩壊過程，社会主義思想の成立と普及について，関心を持って学習しようとしている。 b:環大西洋革命の視点から，ヨーロッパ諸国の動向とラテンアメリカの独立を関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているイタリアとドイツの統一，ベルリン会議後のバルカン半島といった地図や，写真・図版などを適切に活用している。 d:19 世紀のロマン主義や自然主義などの思潮に属する文芸作品，哲学と人文・社会科学，科学・技術の発展，および地理上探検に貢献した人物たちに関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
	アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	○	○	○	○	a: 世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国と西アジア地域の変容について，関心を持って学習しようとしている。 b:日本の明治維新とその後のヨーロッパ文明の導入による近代化がアジア諸国に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているロシアの東方進出や東アジアへの動向をあらわす地図，図版や写真，諸資料を適切に活用している。 d:イギリスによるインドの植民地化とインド社会の停滞から発生した大反乱，ヨーロッパ諸国の東南アジアの分割と植民地化に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

3学期	帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○	○	○	○	a:欧米列強が植民地獲得や勢力圏拡大の競争を繰り広げた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦につながる危機が高まっていったことを関心を持って学習しようとしている。 b:帝国主義列強の植民地支配を受けたアジア諸地域で民族意識が覚醒し，解放・独立をめざすナショナリズムの運動が展開されていったことを，現在の国際状況や問題と関連づけて考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているアフリカ・アジア・太平洋地域の関連地図，同盟・協商関係図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d:帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列国の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。 日露戦争や韓国併合に見られる近代日本の台頭に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア･アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	○	○	○	○	a:アジア諸民族の民族運動が大衆的な基盤を持ち，世界史の新しい潮流をつくり出したことについて，関心を持って学習しようとしている。 イタリア・ドイツ・日本のファシズムの特徴と勢力拡張の過程について，関心を持って学習しようとしている。 b:ヴェルサイユ・ワシントン両体制のもたらした緊張関係や矛盾を多角的に考察・追究し，文章にまとめる。: c:教科書に掲載されている世界恐慌中の工業生産の推移を示す諸資料，日中戦争の地図，図版・写真、ヨーロッパ戦線や太平洋戦争の地図，図版・写真などを適切に活用している。 d:第一次世界大戦の帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格，経過と影響に関する基本的な知識を身につけている。 ロシア革命の展開と，ソ連邦の成立過程に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度
	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧･日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米･ソの歩みより ・石油危機と世界経済の再編	○	○	○	○	a:米・ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。 アジア諸地域の独立と建国時の困難さに関して，関心を持って学習しようとしている。 b 西欧や日本の経済的な復興や高度成長を，戦後の国際政治に与えた影響と関連づけて考察し，文章にまとめる。: c:教科書に掲載されている中東戦争によるイスラエルの領土拡大をあらわす地図，諸地域の図版・写真を適切に活用している。 d:オイル＝ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

	現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の同様 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸相	○	○	○	○	a：通商の自由化と市場経済の世界化がより進展し，地球規模での相互依存が高まったことを学習しようとしている。 b：地球環境の破壊といった現代文明の危機を多角的に考察し，「多文化主義」や「共生」といった思想を探究し，文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているＰＫＯ派遣数の資料や写真などを適切に活用している。 d：東欧社会主義諸国の改革，ソ連邦やユーゴスラヴィア連邦の解体過程，ＥＵやＮＡＦＴＡなど先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。